

議決権行使レポート

証券コード 4272

会社名 日本化薬

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の処分の件	○		
第2号議案 定款一部変更の件	○		
第3号議案 取締役10名選任の件			
涌元 厚宏 氏	○		
渋谷 朋夫 氏	○		
石田 由次 氏	○		
明妻 政福 氏	○		
太田 洋 氏	○		
藤島 安之 氏	○		
房村 精一 氏	○		
井上 佳美 氏	○		
川村 茂之 氏	○		
赤松 育子 氏	○		
第4号議案 監査役1名選任の件			
和田 洋一郎 氏	○		

上記の推奨をした理由

・第1号議案

日本化薬は、配当性向の目標を連結当期純利益の40%以上とし、株主への利益還元に積極的である。なお、当期の年間配当金が一株45円と前期から5円増配していることから、内部留保を企業の成長に生かすことができているために業績を伸ばしたと考えられる。よって私は第1号議案に賛成である。

・第2号議案

日本化薬の見据える新たな事業を定款に加えるものである。将来的に需要増が見込まれる事業への参入を予測した、この時代にふさわしい内容であるため賛成。

・第3号議案

涌元厚宏氏は保有する株式数が10名の中で最も多く、取締役在任年数が7年と非常に長い。また取締役候補者とした理由について、セイフティシステムズ事情部門を率い、代

表取締役社長を務めた豊富な経験は選任に十分だと考えられる。賛成。

渋谷朋夫氏は、彼は長年に渡り経営戦略部門や経理部門を指揮しており、現在は経営戦略本部長兼アグロ事業担当と、グループ経営全般に関する知見を有する存在であり、推薦するには十分だと考えられる。賛成。

石田由次氏、明妻政福氏は、グローバルにわたっての豊富な経験と経営全般に関する知見を有しており、株式保有割合が前期から伸びていることも鑑みると、取締役として適任だと考えられる。賛成。

太田洋氏は、弁護士として十分な経験・知識を有しており、取締役会での監査機能の向上に寄与し得る。また企業法務に精通し、企業統治に関する豊富な見識をコーポレート・ガバナンス体制の強化に活かすことが期待できる。賛成。

藤島安之氏は、総合商社の経営者としての豊富な知識を有しており、社外取締役として適切な経営経験に基づく客観的な立場から経営を監督することができる。この理由は選任に値する。賛成。

房村精一氏は、企業経営への直接関与の経験を持たないが、司法機関における豊富な経験や知識を活かし、法律の専門家として経営陣から独立した立場で、経営を監督することができる。賛成。

井上佳美氏、川村茂之氏は、長年にわたる日本化薬での経歴を有しており、その豊富な経験と経営全般に関する知見を持ち合わせていることは選任に十分だと考えられる。賛成。

赤松育子氏は、直接企業経営に関わる経験を持たないが、公認会計士や公認不正検査士としての豊富な経験・知見を活かし、独立した立場からの助言が期待できる。賛成。

・第4号議案

和田洋一郎氏は長年にわたり工業管理部門、資材部門、監査部門を務め、幅広い業務執行に携わってきた経歴がある。そのため同社の業務に精通しており、企業経営や監査業務に関して有する知見を監査体制の強化に活かすことが期待できる。賛成。